

西海ブロック水産業情報

No. 106(2019年7月～9月)

その他(水産利用加工、水産経済関係、災害等)

山口県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県
<p>・川尻・大井湊地区における一本釣りによるケンサキイカの水揚量(4～8月)が前年、平年を大きく下回った。(前年比29%、平年比26%) ※平年:2014～2018年 ・7月中旬～下旬にかけて定置網に大型クラゲが大量(1000以上/網)に入網した。</p>		<p>【情報発信】 ・携帯電話による沿岸域(3地点)の水温・塩分情報の発信。 ・漁海況情報、漁場環境情報、赤潮、貝毒PL情報等をHP及びFAXで発信。 【赤潮情報】 ・6月11日～8月20日に伊万里湾において <i>Kmikimotoi</i> による赤潮が確認された。最高細胞数は66,000cells/mlであった。漁業被害は養殖マダイ、畜養魚介類(アワビ、サザエ、マダイ)に発生が確認された。また、鎮西町名護屋岡地先の養殖アワビ、名護屋の種苗生産施設のクロアワビにも発生が確認された。 【貝毒情報】 ・貝毒の発生はなかった。</p>		

鹿児島県	宮崎県	大分県	沖縄県
		<p>7～9月の赤潮発生状況は、以下の3件であった。 カレニア・ミキモトイ(入津湾)が1件 漁業被害なし ゴニオラックス・ポリグラマ(佐伯湾)が1件 漁業被害なし プロロセントラム・シグモイデス(入津湾)が1件 漁業被害なし</p>	<p>特記事項無し。</p>